

MISC DOC IMMIGRATION of CHINESE

(1)

(694)

P.1.-

33456



厚生省労働部第一〇三三
内務省労働課第六

昭和十九年四月四日

各地方長官

華人勞務者内地移入へ關スル件

厚生大臣
内務大臣
官官

依命 行 牒

標記ノ件ニシテハ昭和十七年十一月二十七日閣議決定ニ其旨ヨリ
 華人勞務者ノ試験移入實施規程ヲ制定シ其ノ成績概ネ良好ナルニ鑑ミ今以
 次官ノ請ヲ以テ華人勞務者内地移入ニ關スル方針(別紙一)華人勞務者
 内地移入要綱(別紙二)ヲ決定シ之ガ本格的移入ヲ實施スルコトト相成
 候ニ付テハ現下勞力需給ノ逼迫ニ鑑ミ移入ニ關スル諸般ノ手續ハ特ニ迅
 速ニ處理シ以テ之ガ旨達成ニ高意ナキチ附セラレ爰此旨依命及行牒

P.2.

別紙

- 一 華人勞務者内地移入ニ關スル方針
- 一 華人勞務者内地移入ノ綱

P.3.

厚生省労働第一〇三號
内務省労働管理 六日

昭和十九年四月四日

厚生省労働局長

各府 知事 殿

華人労働者内地移入ニ關スル件

標記ノ件ニ關シテハ本日同局ヲ以テ原生内務兩次官依命前牒有之候
之方運用ニ付テハ次官口頭決定「華人労働者内地移入ニ關スル方針」
並ニ「華人労働者内地移入要綱」ニ據ルハ勿論左記ノ點特ニ留意ノ上
以理相成務致度此段及通牒候

追テ三月十二日勅發第六〇〇號ヲ以テ労働管理候華人労働者内地移
入第一次御當ハ本件ニ依リ以理相成候爲念申添候

(別紙)

記

第一 申請

一 安綱第二ノ一ニ因シテハ厚生省ノ局長主別移入員等ノ前管以定
 通稱ニ基キ同僱主ノ信用状態。経営状況。勞務管理状況等十分審査
 シ且將來同問題等惹起スル虞ナキコトヲ確メタル後幹旋申請書ヲ
 提出セシムルコト。審査ノ結果移入ヲ適當トセザルモノ又ハ其ノ必
 要ナキモノニ付テハ直チ其ノ旨事由ヲ具シ厚生省ニ報告スル事
 二 安綱第二ノ二ニ因シテハ事業ノ繁盛労働者ノ上前項ニ準ジ十分審査
 ヲ遂ゲ眞ニ移入ヲ已ムヲ得ズトナスモノニ限リ之ヲ認メシムルコト
 三 前二項ニ依ル申請書ハ就該地ヲ管轄スル國民労働員等ヲ經由シテ
 廳府ニ提出セシムルコト
 廳府ハ右申請書ニ意見ヲ附シ正副二類ヲ厚生省ニ進達スルコト

第二 移入

一 安綱第二ノ五ニ因シテハ直ニ引込ニ付シ引込。必送。到着後ノ指
 圖ニ付萬事ヲナキ以指図セシムルト共ニ引込責任者ヲ定メ之ヲ
 廳府ニ届出デシムル事
 廳府ハ右引込責任者ノ氏名ヲ厚生省ニ報告スルコト

4-9
 15761718192021

幹旋

P.5.

第三 到着後ノ措置

多クノ労働者ニ對シテハ、到着後ノ措置ニ關シテ、

一 初ニ労働者ノ供出位ニ幹事ハ大使館、現地單位ニ對シテ、
 一 場合ハ華北政務委員會ニ報告シ、下ニ現地勞務統制委員會（華北勞工
 協會）之一ニ當ルモノナルヲ以テ、該會主テシテ速ニ現地ニ於テ右協同
 一 下引出送等ニ關スル細目ニ付打合シムルコト
 一 移入労働者ノ供出費位ニ安家費ハ僱主ニ於テ之ヲ負擔シ右經費ヲ
 一 引出二週前ニ現地ニ旅費圓ニ對シテ送付セシムルコトヲ要ス
 ルコト

供出費位ニ安家費一人當リ概ネ右ノ通ナルコト

供出費 五〇〇圓内外（昭和十九年四月一日ヨリ約道運賃値上ゲ
 ノ爲メ送費五〇圓増額計六〇〇圓内外）
 （券集費、途中食料、身用品、炊事用品、搬送費、醫藥等）

安 家 費 五五圓内外

（殘留家族ニ對スル應急生活費）

場職員ト交代セシムルコトモアルベキニ付、前主ニ於テハ、
ノ新員職員中ヨリ適當者ヲ選定シ、現地警察官ニ派遣シ、上華人ノ
習癖等理解セシムルタメ、一ヶ月乃至二ヶ月間ヲ受ケシメ、任クニ

ト
(5) 移入勞務者ノ使用ニ當リテハ、供出時ノ編成ヲ其ノ位利用シ、且作事
ニ關スル命令ハ日係官職員及華系責任者へ發給スルヲ以テ、
之ヲ發スルニ付、華人勞務者ニ對スル直接命令ハ、之ヲ發ス
ルコト

移入勞務者ノ戶籍契約期間ハ、原則トシテ就職到着ノ日ヨリ向テ二
ケ年以内トシ、且契約期間ノ延長ハ、就職場所ノ變更ハ認メラレ
ザルモ、眞ニ其ノ必要已ムヲ得ザルモノニ對シテハ、再斷ニ左記事項ヲ
具シ就職地又ハ移轉先應附長官ニ提出シ、總員館ノ場合ハ新舊兩居
住主ノ連署ヲ要スルニシムルニ

1. 契約期間ノ延長又ハ就職場所ノ變更若クハ轉戶籍セントスルモノノ
本籍、住所、氏名、年齢、法人ナルトハ其ノ名稱主タル事務所
ノ所在地及理事其他ノ法人ノ職務ヲ執行スル役員ノ氏名
2. 契約期間ノ延長ハ就職場所ノ變更若クハ轉戶籍セントスル理由

- 3. 移入勞務者ノ現ニ從事スル職業ノ種類並ニ就業場ノ所在地及名稱
- 4. 日付期間ノ延長又ハ就業場ノ變更若ハ轉用付セシメントスル移入勞務者ノ内地移入年月日、轉用後ノ轉用年月日並ニ其ノ員數
- 5. 變更セントスル事項ハ單ニ日付契約期間ヲ延長セントスルモノニ在リテハ其ノ延長期間日付契約期間ヲ延長シ使用條件ヲ變更セントスルモノニ在リテハ其ノ延長期間並ニ變更セントスル條件、就業場ノ變更又ハ轉用付セントスルモノニ在リテハ變更後ノ職業ノ種類並ニ就業場ノ所在地名稱
- 6. 就業場ノ變更又ハ轉用付先ノ日付主(本籍、住所、氏名、年令、法人ナルトキハ其ノ名稱、主ナル事務所ノ所在地及理事其他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ノ氏名)
- 7. 就業場ノ變更又ハ轉用付セシメントスルモノニ在リテハ就業場ノ變更又ハ轉用付後ノ使用條件並ニ福利(公網等)ノ一ニ依ル華人勞務者轉用申請書記或内容ニ準ジテ記載スルコト
- 8. 移入未經僱勞務者ニ對シ内地生活ニ適應スルニ必要ナル基礎訓練及作業ノ基礎教育ノ爲必ズ一定期間(概ネ六月)日付主ヲシテ訓練ヲ實施セシムルコト
- 9. 移入勞務者ハ給與及之ガ支拂方法、防衛、保健衛生、保護技術等ニ

79

第四 諸國者ニ通スル措置

因シテハ追テ通牒ノ豫定ナルコト

ハ領主出動期満了(満了前ノ召集ノ縮少。廢止。終了ヲ含ム)又
 ハ病氣ニ依リ歸國確定又ハ歸國セシメントスルトキハ要綱第三ノ
 送ニ準ジ歸國セシムベキモ右ハ送経路、月日等ニ付テハ厚生省ノ指
 示スル所ニ依ルコト

112

示スル所ニ遊スル

後ニ學ビテ上ルル事ニハキチ其ノ意ヲ通シ且日暮ニ至テハ引坐首ノ所

ハ障簾ニ遊リ觀ル所又ハ觀ル事ニ至ルル事ハ要スル所三ノ

一ノ所主田也其ノ田ノ下ニ遊リ觀ル事ニ至ルル事ハ要スル所三ノ

一ノ所主田也其ノ田ノ下ニ遊リ觀ル事ニ至ルル事ハ要スル所三ノ

一ノ所主田也其ノ田ノ下ニ遊リ觀ル事ニ至ルル事ハ要スル所三ノ

華人勞務者内地移入規則

第一 通則

一 華人勞務者ノ移入ハ、主官ヲ以テシテ、

ノ専断ニシテ、

（一）農業（石炭田及金銅田）

（二）防土木建築業

（三）鑛業工業（鐵鋼、造船、製糖、製油、化學工業等）

（四）港灣及陸運行役

（五）其他特別緊要ト認ムルモノ

右各業ト雖モ勞務管理適當ナラザルモノ及ハ、關係官廳ノ指示ニ從ハ

サルモノニ對シテハ之ヲ移入セザルコト

第二 移入手續申請ノ手續

一 應付ノ厚生省ヨリ華人勞務者ノ募集主別移入員數ノ割當決定

報ヲ受ケタルトキハ、募集主ヲシテ華人勞務者斡旋事情申請書正副四

通（様式第一號）ヲ切請願附録由提出シムルコト

一 厚生省ノ割當ナキモノ第一ニ掲グル募集主ニシテ華人勞務者

P.11.

Handwritten notes and stamps at the bottom of the page, including a circular stamp with the number 11-14.

ノ移入員等ヲ希望スルモノアル場合ハ前項ニ準ジ厚生省ニ稟請スル
コト

一 厚生省前二項ニ依リ訓令ヲ決定シタル場合ハ一華人労働者轉旋申請
書一一通添付ノ上其旨大正西省ニ通報スルト共ニ該項特別訓令ヲ

内務省宛送付スルコト
一 大東亞省前項ノ通報ヲ受ケタル際ハ其ノ労働者引継、輸送月日時ヲ

決定シ其ノ程度厚生省ニ通知シ之ヲ通報スル事
一 厚生省前項ノ通報ヲ受ケタル際ハ一修職府、市、町、村ニ通知シ之ヲ稟請主ニ通

報シ移入労働者ノ引継、輸送、到着後ノ措置ニ付是概ナキヲ明セシ
ムルト共ニ引継責任者ヲ決定ノ上大東亞省宛通知スル事

第三 輸送

一 就察地國民勤勞動員署長ハ別途所屬警察署ノ發行スル「旅支身分証
明書」ノ裏面ニ引継者タルコトヲ記入證明スルコト

一 移入労働者ノ引継ハ一送ハ全テ該地ニ依ルモノナルコト
一 移入労働者ノ引継ハ一送ハ全テ該地ニ依ルモノナルコト

一 移入労働者ノ引継ハ一送ハ全テ該地ニ依ルモノナルコト
一 移入労働者ノ引継ハ一送ハ全テ該地ニ依ルモノナルコト

第四 到着後ノ措置

○

一 移入華人労働者に對して其地ニ到着シタルトキハ其地主ニ地方長官宛
 「労働許可證」(明治三十一年七月)申請ノ手續ヲラシムルト共ニ送ニ
 其就業地ヲ登録スルハ民働労働員署ニ移入労働者名録(労働者出
 地、氏名、年令)添付シ送中ノ概況ヲ報告セシムル事
 二 民働労働員署ハ右ニ依リ移入労働者ニ到着年月
 日、送途中ノ異動状況等ヲ直ニ縣府縣宛、縣府縣ハ厚生省宛報告
 スル事

○

一 移入華人労働者ノ異動、災害、紛擾其他事件發生シタルトキハ特ニ
 抑索防護等ノ秘密保持ニ留意スルト共ニ警察主ヲシテ速ニ警察署
 民働労働員署ニ報告セシムル事
 二 縣府ハ民働労働員署及警察署ノ報告ヲ取録メ厚生省、内務省及
 大東亞省ニ報告スルコト

○

一 縣主ヲシテ毎月末在テ以テ移入華人労働者労働状況ハ様式第ニ
 統一ヲ民働労働員署ヲシテ翌月末迄ニ縣府ニ必着スル如ク報
 告セシムルコト
 二 應付ハ右労働状況報告ヲ警察種別ニ取録メ且集計ノ上翌月十日迄
 三 厚生省及内務省及大東亞省ニ報告スルコト

専業主ハ切實監督。國民勤勞勸員署其他関係ノ指示ニ從ヒ訓練施設。技術教育施設。道營ナル慰安婦施設ヲ設クルノ外ハ廣診、生活訓練其他ノ保護補給ヲ講ズル事

第五 移住ニ關スル措置

移入華人労働者ノ移住ハ出立期間ノ延長。就業場ノ變更。再入場ハ原則トシテ認メザルモノトスルモ必要已ムヲ得ザルトキハ厚生省ニ稟請ノ上之ヲ認ムルヲ得ルコト

第六 移住期間ニ關スル措置

出立期間満了一滿了前移住ノ縮少廢止終了ノ場合ヲ含ムニ依リ移住者確定シタルトキハ次ニ依リ措置スルコト

第七 移住者ノ姓名及出身地、氏名、移入年月日詳細報告ニ下轄地ニ決定年月日等ヲ門民勤勞勸員署及警察署

ヲ經由シテ報告セシムルト共ニ様式第三號ニ依リ厚生省。内務省及大東亞省宛報告スルコト

第八 移住主ヲ引率責任者ヲ附セシメ組織ニ依リ第三ノ送ニ準ジ

時察セシムルト共ニ國民勤勞勸員署及警察署經由現地ニ引渡完了ノ概況ヲ報告セシムル事

第九 引率者ノ派支。引率證明ニ關シテハ第三、(一)ニ準ズルコト

華人勞務者內地移入ニ關スル方針

第一節 方針

一 内地移入ニ關スル華人勞務者（以下單ニ華人勞務者ト稱ス）ノ供出又斡旋ハ大抵總ノ現場軍並ニ國民政府（華北ヨリノ場合ハ華北政務委員會）ノ指導ノ下ニ現地勞務統制委員會（華北ヨリノ場合ハ華北分工作場）ニシテ之ニ當ラシムルコト

二 華人勞務者ハ訓練セル元俘虜又ハ元捕兵ノ外ニ依ルモノトスルコト 前項ノ勞務者ハ年令概ネ四〇才以下ノ男子ニシテ素質優良心身健全ナル者ヲ選抜スルコトトスルモ可成三〇才以下ノ幼身男子ヲ優先的ニ選抜スル以テ努ムルコト

三 華人勞務者ハ移入ニ先立チ可成一定期間（一ヶ月以内）現地ノ通商ナル區域ニ於テ必要ナル訓練ヲナスコトトシテ移入未起點勞務者ニ付テハ内地ニ於テモ之ヲ採用スル工場。事業場ヲシテ必ズ一定期間必要ナル訓練ヲナサシムルコト

四 華人勞務者ハ之ヲ國民動員計畫ノ案中位置、荷役、防土木建築業及重労働工業其他付ニ必要ト認ムルモノニ從テシムルコト尙ほ勞務地ニ付テハ可及的分散セシメサル如ク留意スルコト

45.6.9.8 (15)

華人勞務者ノ契約期間ハ原則トシテ二年（但シ往復途中ノ日数ヲ含
マスト）トシ同一人ヲ繼續使用スル場合ニ於テハ超過後適當ノ時期ニ
於テ希望ニ依リ一時歸國セシムルコト

華人勞務者ハ毎年定員計書ニ計ヒシ計費的移入ヲ計ルセノト
セルコト

華人勞務者ニ對スル取扱及待遇ニ關シテハ其ノ民族性ヲ考慮シ特ニ
注意ヲ拂フト共ニ業種又ハ就業地ニ依リ著シク差等ヲ生ゼザル如ク
スルコト華人勞務者ノ家族送及待遇ニ付テハ原則トシテ特別ノ
制限ヲ附セザルコト

第二 使用條件

華人勞務者ノ使用ヲ限ル工場。事業場（以下單ニ工場事業場ト稱
ス）ハ華人勞務者ノ相當ノ利益ヲ集積的ニ配分セシムルコトヲ條件トシ
係屬ト協議ノ上厚生省之ヲ認定スルコト

移入ニ關スル細目于別ハ別ニ定ムル所ニ依ルコト

華人勞務者ノ管理ニ付テハ特ニ左ノ諸點ニ留意ノ上華人ノ領旨ニ意
識ナル變化ヲ來サザル如クスルコト

工場事業場ハ現地ヨリ同行セル日系指導員ヲ華人勞務者ノ直接責任

等トシテ之カ道徳世話ニ當ラシムルコト

(2) 華人勞務者ノ使用ニ當リテハ可及的供出時ノ程度ヲ利用スル如クシ且作事ニ關スル命令ハ日系指揮官及華系責任官ハ其長又ハ把頭ヲ任ジ之ヲ發スルコトトシ華人勞務者ニ關スル高層ノ命令ハ嚴ニ之ヲ慎ムコト

(3) 華人勞務者ノ作業場所ハ朝鮮人勞務者又ハ俘虜トハ嚴ニ之ヲ區別スルコト

(4) 就勞地到着後ハ充分ナル休養ヲ與ヘタル上勞務セシムルニト

(5) 住宅ハ濕氣豫防ニ留意ノ上朝鮮人勞務者住宅ト直接セザル如ク一ト

ヲ劃シ設置スルコト

(6) 食料ハ可成華人勞務者並當食ヲ給スルモノトシ之ガ食料ノ手當ニ付テハ農商省ニ於テ特別ノ措置ヲ講ズルニト

(7) 慰安所並ニ娯樂施設ニ付テハ工場或農場ニ於テ適當ナル施設ヲ講ズ

ルニト

華人勞務者ノ賃金ハ内地ニ於ケル賃金ヲ標準ト爲スモ内地ト現地ノ賃金及物價ノ間ニ甚シキ懸隔アル事情ナルヲ以テ殘留家族ニ對スル送金及持歸金ヲ確保スル爲メ所長ノ措置ヲ講ズルコト

賃金、手當其他ノ給與ノ具体的細目及之カ支拂方法、防疫保健衛生

保護救済等ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコト

既時時間ハ内地ノ例ニ依ルニ、秋分ノ日ハ必ず公休日ノ段

四大節ノ外舊正月一日並ニ端午節、秋分ノ日ハ必ず公休日ノ段

第三 移入及送還ノ方法

移入及送還ニ要スル諸費ハ労働者ノ賃金ヨリ控除セザルコトシ其

別トシテ工務局等ノ負担トスルモ差支アリ得ル家賃等負担

ノ方途ヲ講スルコト

華人労働者ノ労働ハ日商支那係以て於テ之ガ手配ヲナスコト

華人労働者ハ其ノ期間満了後工場等ニ於テ其ノ賃金トシテ之ヲ發給

地迄送還スル事、疾病其他ノ理由ニ因リ送還ヲ行ハザルニ至

リタル労働者ニ付テモ同様に之ヲ行ハルベキ

第四 其他

工場労働者ノ華人労働者ノ防護並ニ逃亡防止ニ付特段ノ注意ヲナス

工場労働者ノ職員指揮員トシテ現地に於テ訓練スルカメ其ノ指図ヲ講ズルコト

訓練完了セル指揮員ハ爾次同様に之ヲ訓練スル地ヨリ同行セシメタル月系指揮員ト交シテ

シムルモノトスルコト

華人青少年ノ内地ニ於ケル委託養成ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコト

國家補償ノ方法及限額等ニ付テハ別ニ之ヲ定ムルコト

P.19.

妹

昭和 年 月 日

厚生大臣 御親政殿

申請者 住所氏名印 (法人代表者氏名)

就業場		就業場現		在員数		種別		性別		種別		性別		種別		性別	
業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場
業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場
業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場	業種	就業場

自昭和 年 月 日 至今 年 月 日

件	待	運	興	年	當	法	方	地
福利	訓練	募集	其他	要	摘			
作業用品貸與又 支給方法及其種目 痛泊施設、状況 衛生管理、状況 災害扶助、程度 訓練施設、状況 訓練方法及期間 募集期間、回 募集別地区人員 引込及保護方法 収用者に対する措置 此等防備等に対する策要	作業者、作業用品の補助等 単人、作業者の補助等 衛生管理、消毒、検疫、伝染病の予防等 災害扶助、救済、救護等 訓練施設、訓練場、訓練用具等 訓練場、訓練用具等 募集期間、募集回数 募集別地区人員 引込及保護方法 収用者に対する措置 此等防備等に対する策要	自昭和十九年五月一日 至昭和十九年六月三十日	輸送経路	輸送経路	輸送経路	輸送経路	輸送経路	輸送経路

昭和十九年六月三十日

P.21

區分	職名	所在地	分項		移入狀況	移出狀況	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記
			本月計	本年計							
			移入	移入	移入	移出	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記
			死亡	死亡	死亡	死亡	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記
			病故	病故	病故	病故	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記
			其他	其他	其他	其他	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記
			合計	合計	合計	合計	本月末在	缺勤狀況	出勤率	華人	備記

表式第二

移入華人勞務所勞務狀況報告

月分

道府

P. 23.

表式第三號

華人工務局第一號泥灰報告

道 附 錄

就業場名稱所在地	調查者姓名	調查理由	調查日期 年 月 日	調查者姓名	調查理由	備 註
					(經由)	
					(經由)	

P. 29

(理由)	(理由)	(理由)	(理由)

記 上 ノ 注 意

- 一 申請人住所氏名ハ韓旋ヲ受ケントスル者ノ住所氏名法人ナル時ハ其ノ名稱主タル事務所ノ所在地及理其地ノ法人ノ事務ヲ執行スル役員ノ氏名ヲ記入スルコト
- 二 華人勞務者ヲ募集セントスル理由ハ事務ノ繁忙ノ事情自若ノ不足狀況及其ノ對策トシテ採リタル方法内地労働者ヲ募集シ所期ノ目的ヲ達成セザリシ事情等詳細ニ記載スル事
- 三 就業場ニ關スル事項ハ左記ニヨル事
 - (一) 所在地名稱ハ移入勞務者ヲシテ就業セシムベキ工場ノ所在地名稱ヲ記載スル事
 - (二) 事業ノ種類ハ産業別分類ニ依ルコト
 - (三) 事業概要ハ移入勞務者ヲシテ就業セシムベキ事業ノ進捗狀況及計畫ノ概要
 - (四) 就業者現在員數ハ申請當日現在ノモノヲ記載スルコト
 - (五) 今後ノ勤勞報因受入可能見込狀況概ニハ今後ノ勤勞報因以確保見込ニ付キ記載スル事
- 使用條件ニ關スル事項ハ左記ニヨルコト

(一) 移入労働者ヲシテ就業セシムベキ作業ノ項目ハ其ノ概石ヲ簡潔ニ記

成ノ上之ガ就業人員ヲモ記入スル事

(二) 労働契約期間ハ華人労働者ノ現場到着ノ日ヲ記算トシテ記載スル事

(三) 就業時間ハ定時就業時間ヲ記載シ早出残業アルトキハ其ノ時間數ヲ

括弧内ニ記入スルコト

(四) 休憩時間ハ定時及早出残業ヲ指スル休憩時間數ヲ記載スルコト

(五) 公休日ハ工場等現場ニ於ケル定休日ヲ記載スルコト

(六) 給与中賃金ハ基本給(前負給高ニ在リテハ一日平均見込額)獎勵加

給等夫々區別ノ上記載スルコト

(七) 諸手当ハ早出、残業歩留、夜勤手当休日出勤手当、皆勤手当、作

業手當役附手當、不就業手當、慰勞手當、家族手當等區分ノ上記載

スルコト

(八) 賞與其他ハ賞與及之ニ類スルモノヲ夫々區分ノ上記載スルコト

(九) 支拂方法ハ其ノ諸手當賞與及其他ニ區分ノ上夫々其ノ支拂方法ニ付

記載スル事

(十) 作業用品賞與又ハ支給ノ方法及其ノ種類ハ直接作業ニ必ストスル器

具ハ勿論帽子衣服、靴等ノ同接作業用品ニ付テモ記載スルコト

福利ニ付スル事項ハ左記ニ依ルコト

(一) 宿泊施設ノ状況ハ移入労働者ヲ収容スベキ宿舍ノ位置、環境、設備

衛生管理ノ状況ハ健康保持増進ニ付スル施設又ハ換ラントスル措置

ニ付キ記載スルコト

(二) 災害扶助ノ程度ハ傷痍疾病ニ對スル扶助ノ程度ヲ記載スルコト

(三) 訓練施設ノ状況ハ左記ニ依ルコト

(一) 訓練施設ノ設備、修繕、訓練組織等ニ付記スルコト

(二) 訓練方法及期間ハ訓練實施細目ニ付記スルコト

募集ニ付スル事項ハ左記ニ依ルコト

(一) 募集期間ハ現地ニ於ケル募集期間ヲ記載スルコト

(二) 募集地種別人員ハ現地募集地種名一北支、中支、南支別ニ並ニ其地

地方ニ於テ募集メントスル人員數ヲ記載スルコト

(三) 引率及保證方法ハ引率、定率、職氏名及送還上ニ於ケル保證方法ニ

付記スルコト

(四) 送還経路ハ送還希望経路ヲ記載スルコト

其他ニ付スル事項ハ左記ニ依ルコト

(一) 同 者ニ對スル措置ハ閉門病ヲ了疾病ヲ他ノ由ニ依リ
 ル者ニ對スル施設ニ類ス。輸送等ニ付託スルニト
 (二) 逃亡防諜等ニ對スル対策ハ其ノ方法施設等ニ付託スルコト
 出セントス

身道品送壯

蒲團

九九枚

夏布

九九枚

右清送、申信也、

昭和十九年七月三十日

廣島担

清中

華北勞工協會青島辦事處

周裕吉印



第 一 次

第 一 次

第 一 次

第 一 次

第 一 次

第 一 次

第 一 次

第 一 次

P.30.

洋紙野紙

十ヒアサロウゴウニメイシス

北京市大鼓道胡同十二号

華北勞工協會青島辦事處

松隈部長

青島市

華北勞工協會青島辦事處

主任殿

東京都麻布區霞町二十二番地

華北勞工協會東京事務局

ハキニ 局長殿

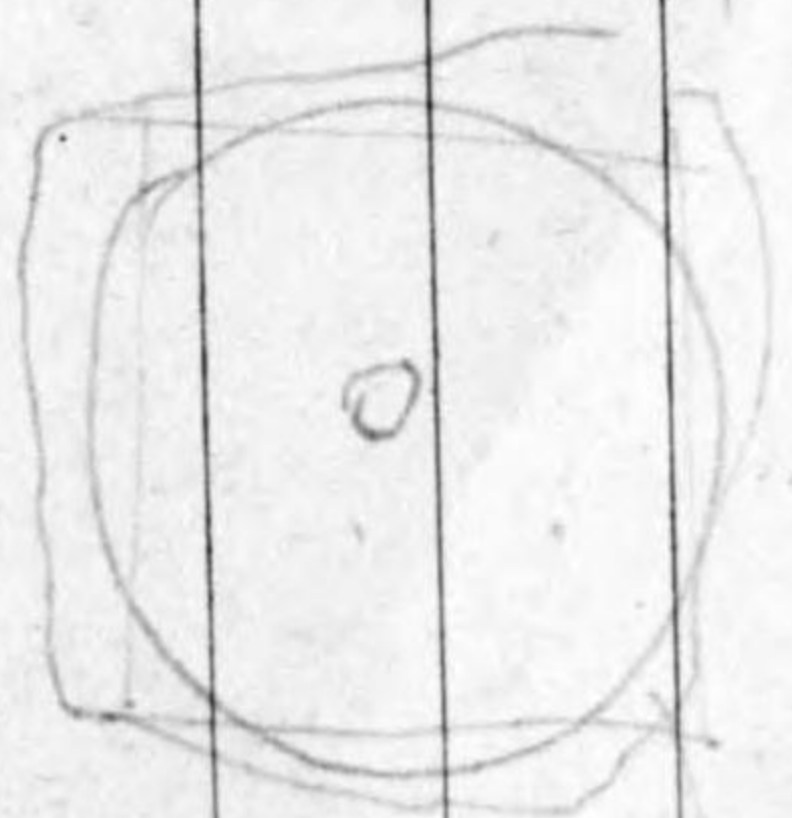
北京西苑北京題名隊

隊長殿

北京西苑北京題名隊

株式会社 鹿島組

(東東 2135)



P31.

品目	負数	品目	負数	品目	負数
レコトト	九〇枚	バケツ代用	一二ヶ		
銅 大	✓ 六ヶ	水盆代用	六ヶ		
ク 小	✓ 六ヶ	アンペラ	一〇〇枚		
菜 刀	三ヶ	便器代用	一〇ヶ		
麵 棒 小	四ヶ	苞 米	一〇八袋	一八〇箇	
マ ナ 板	二ヶ	玉 葱	三袋		
セ イ ロ	✓ 六組	蒜	一三袋	一二袋	
茶 腕	六〇ヶ	食 塩	二袋		
著	三〇本	食 油	一五		
炊事用 ストーブ	四ヶ				
洗面器 代用	一〇ヶ				

労工携行物品一覽表

和紙紙 B 4
 下関市
 労務局
 労務課
 労務係

(五)

P.32

第	一	號	本	年	第	一	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	二	號	本	年	第	二	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	三	號	本	年	第	三	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	四	號	本	年	第	四	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	五	號	本	年	第	五	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	六	號	本	年	第	六	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	七	號	本	年	第	七	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	八	號	本	年	第	八	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	九	號	本	年	第	九	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十	號	本	年	第	十	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十一	號	本	年	第	十一	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十二	號	本	年	第	十二	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十三	號	本	年	第	十三	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十四	號	本	年	第	十四	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點
第	十五	號	本	年	第	十五	次	會	計	表	明	細	目	次	要	點	一	覽	表	明	細	目	次	要	點

東京都

株式會社

鹿島

組

組

P.33.

船中
三巻

昭和二年八月五日
カウノ

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿島組

電話京橋50代表六二一(番)5

カウノ

一。ヒキルニ九四(リウリンエヨウ)ニ三ニ(シリレンセイ)

シボウハヒ一メイトアワセケイニメイシボウ

セリルベウシヤナホサメイチカリアス

ウチニメイハセキリトカチカイノタメガシヨウドクノウヘ

カクリセリル中ウチカイニシラセキリル

カウノ

一子社

ニ株

三 学工協会

抄

2p.34

花勞第ニ五號

昭和十九年八月十四日

鹿島組花園出張所長

御字及
御字印
新
長
長
長

華人勞務者移入報告一件

六月三十日附秋收勤第ニ、入場ヲ以テ

御承認相成候首題一件、左記ノ通ノ入場

致候ニ付御諒承有之度名簿並輸送機次

書添付此殿及報告候也

記

朱式 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

台社 鹿島紙業株式会社 8月

入場月日	入場人員	減籍数	現在数	摘要
八月七日	九人	一人	九人	
八月八日	二〇〇	三人	一九七	
合計	二九〇	三人	二九三	
<p>附記 減籍数 一人は花言談より引越つ日におき八月八日午後十時以降一人名、同日射病、一名、擬似</p>				

八月八日午後十時以降一人名、同日射病、一名、擬似
 減籍数 一人は花言談より引越つ日におき八月八日午後十時以降一人名、同日射病、一名、擬似
 合計 二九〇 減籍数 三人 現在数 二九三

松

昭和十九年

八月十日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋66代表六二二一(番5)

株式会社鹿島組 報告書

計表

大波島式勤子力勤者長数

每人只力勤者数 三三三三三件

上月、本月附給收勸之、八月、九月、十月、十一月、十二月、合計、

金額、件数、合計、

収及採信、

呈送送概西の巻通

P.36.)

入局月日	入局人員	減籍数	現在数	病	要
八月七日	九	九	九		
八月八日	二〇	三	一九		
合計	二九	三	二九		

附記減籍数の内、八月七日、八月八日、八月九日、八月十日、八月十一日、八月十二日、八月十三日、八月十四日、八月十五日、八月十六日、八月十七日、八月十八日、八月十九日、八月二十日、八月二十一日、八月二十二日、八月二十三日、八月二十四日、八月二十五日、八月二十六日、八月二十七日、八月二十八日、八月二十九日、八月三十日、合計、

P.37.

大館市仲野

石川忠郎

三十三

右者華人労働者指通すことと
労働者組合の組織を
促進し、労働者間の
相互扶助を期す

昭和拾九年八月拾壹日

大館國民勤勞動員署



大館國民勤勞

大館園巨蕪姿

Faint handwritten text in vertical columns, possibly bleed-through from the reverse side of the page.

P39.

備考	傳染經統	年 月 日 時	診 斷	初診年月日	發病年月日	性別年齡	氏 名	患者番號	昭和十九年八月十四日	秋田縣北秋田郡花園町	大館 敬子 敬子 敬子 敬子 敬子
病名	不明	午後一時〇分	昭和十九年八月十四日	昭和十九年八月十四日	昭和十九年八月十四日	三年	傳 世 龍	第二四〇號	傳染病患者發生通知	花園鉦山病院 醫師	大内 正
赤痢		住所氏名	届出醫師	届出受付年月日	治療場所	職 業	現住所	本籍地			
			北秋田郡花園町花園鉦山病院			唐山担簾	北秋田郡花園町花園鉦山病院	河北省玉河縣河会村			

P.40.

洋紙罪紙

工人数名氏名		接	事
二九四	刘林祥	八月十日	...
二三二	史臨清	八月十日	...
二五五	史青山	八月十日	...

株式会社 鹿島組

(東東 2135)

昭和 年 月 日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋區 (電) 六三二一・六三二三・六三二五

(P4)

移入華人勞務者報告三箇月件

貴所ニ原ル標記、件月報未ダ貴所ノ報告

有之ニ之事務處理上支障ヲ来メシ居リ候ニ付テハ

并及シ当署能四部報告相成度候

尚 二九七名移入中、入日一名 十二日二名、二十名一名

海死致タルトテ事ニ有之候ニ付テハ此レガ詳細ヲ四部

作製シ当署宛報告セヨシ度

迄而今後ハ絶ルニ時期ヲ失スヨリ華人勞務

者、報告ハ必ズ報告ニテモ四部ツツハ報

告ノ事ト

一九、四一ノ函

(P41)

昭和 年 月 日

東京都橋區橫町二丁目三番地

株式會社 鹿島組

電話 東京 橋區 (六三三) 六三三・六三三・六三三

郵便 更



大館國民勤勞動員署

至急



北秋田郡花岡町
株式會社 鹿島組
花岡出張所 長 殿

(P42)

昭和十一年 八月十九日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋50代表六二二一番(5)

株式會社 鹿島組 謹啟

云々 謹啟

大波長式動機力初等台

輸入業者人云々 謹啟

株式會社 鹿島組 謹啟

御付ノ書 謹啟

此子以根知 謹啟

昭和十九年八月十八日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿島組

電話京橋56 代表六二二一番(5)

勞通第三六六號

北園出張所長殿

社長



華人勞務者死亡之報告之件

標記ノ件ニ関シハ就業場所轄官署ニ決定ノ手續ニ履
行スル外左記様式ニ依リ華人勞務者死亡之報告書ヲ
本社至由華世労工協會東京事務局ニ提出致シ度ニ付
二通申送附相成度候
追テ本報告書ニハ必ラズ死亡之診斷書ヲ一通添付相成度

八月二十一日受付



(P.43)

昭和 年 月 日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋50代表六二二一(5)

華人労働者死亡之報告

華人番號 (名簿番号)

氏名

年令

病名

死病日時

死之日時及場所

死亡者發生地

就業場所所在地

就業場氏名代表者

華工労働協會

東京事務局長宛

註

就業中死亡之ハハ、據傷金明細及弔意金送、有無ヲ別紙ニ記入提出ノ事

猶船中ニ死亡三名分ハ本社ニ直接作成提出ノ就業場到着以後ハ分ニ對シテハ現場より金部作成本社ニ送付相成度

(P 44)

一、檢閱之呈報二、管入故力一事

『附』 裝計中 所ノナニル 檢金組 及 民新金貯所

計 計 檢 金 貯 所

計 計 檢 金 貯 所

裝計 檢 金 貯 所
裝計 檢 金 貯 所

所ノ檢 計 所

所ノ日 計 檢 金 貯 所

所ノ檢 計 所

所ノ檢 計 所

計 計

計 計

計 計 檢 金 貯 所 (所 檢 計 所)

計 計 檢 金 貯 所 檢 計 所

449 P45

華人 宇井 清 氏 死亡 報告

華人 宇井 清 氏 死亡 報告

史 記 一 清

一 病 為 肺炎 症 心 律 不 齊 等 症

一 病 發 症 日 廿 一 日 於 十九 年 八 月 八 日

一 死 亡 日 時 及 場 所 於 十九 年 八 月 十 日 午 時 七 時 分

一 死 亡 之 地 於 日本 神 戶 市 中 區 本 町 一 丁目 一 番 地

一 死 亡 之 地 於 日本 神 戶 市 中 區 本 町 一 丁目 一 番 地

一 死 亡 之 地 於 日本 神 戶 市 中 區 本 町 一 丁目 一 番 地

一 死 亡 之 地 於 日本 神 戶 市 中 區 本 町 一 丁目 一 番 地

株式會社 日本 郵 船 株式會社 長 官

會社 展覧會 紀元皇正日 別冊

株主のみなさんへ 敬啓

先般の如く 貴社 敬啓

華北の力工 敬啓

本年の事業 敬啓

三月の如く 敬啓

三月五日 敬啓

備前 敬啓

吊慰金 敬啓

合 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

祭 敬啓

847

死亡診斷書

一 氏名

史 忠 清

一 男 女 別

男

一 出生年月日

二十五年

一 役

業 死亡志、後業

土工

一 病変死、生、他

病死

一 病名

熱射病、心臓麻痺

一 癸病、日

昭和十九年六月八日

一 死亡、時

昭和十九年六月八日午後七時

一 死因、持身、移身、少、移、用、新、以、此、為、所、始、之、因

本 醫 生 史 忠 清 氏 遺 體 所 在 處

右證解確受此中證也

天助和生及... 狀况中...

天... 轉... 少林... 狀况... 醫院

余... 日... 大... 山

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

無... 驚... 驚... 驚...

P.49.
GOU YUANG YU

P.49.

華人分務者死報告

華人分務者

三九號

...

...

...

一病 名 吳子 吳公 障 妻 (今係 撫 在 マリリヤ 島

...

一 癸 病 日 時 陽 和 十 九 年 八 月 五 日

一 死 亡 日 時 陽 和 十 九 年 八 月 八 日 公 所 後 八 時 〇

...

...

一 死 亡 日 時 陽 和 十 九 年 八 月 八 日 公 所 後 八 時 〇

株式 電 局 且 電 局 工 出 長 所

會社 月 書 系 三 卷 之 五 第 五 頁

天下各處均有出售
本會同人等
不勝歡迎之至

本會同人等
不勝歡迎之至

華北總商會
會長 謝文耀

華北總商會
會長 謝文耀

局長 謝文耀

華北總商會
會長 謝文耀

字三付用
字三付用

華北總商會
會長 謝文耀

華北總商會
會長 謝文耀

檢案

死体於某書

一 氏名

郭潤雨

一 男女別

男

一 出生年月日

五十六年四月

一 死因

死因不明

上工

一 病変死其他

病死

一 病名

以之出障病等リヤ業根種病

一 発病日

昭和十九年八月二十日

(2)

一 死亡時間

昭和十九年八月二十日午後八時五分

一 死亡場所

秋田県小野町小野町役所

中山町内

V. 52

會社 團長 總務 會計 出引月

右記 事務 修繕 中 乙 乙 乙 乙

五 五

新 新

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

一 一

華人 呂力筋 死亡 報告

華人 呂力筋 死亡 報告 呂力筋 係 廣東 省 廣州 府 南海 縣 人 年 約 四十 餘 歲 於 八月 十日 在 廣東 省 廣州 府 南海 縣 死亡 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

華人 呂力筋 死亡 報告 呂力筋 係 廣東 省 廣州 府 南海 縣 人 年 約 四十 餘 歲 於 八月 十日 在 廣東 省 廣州 府 南海 縣 死亡 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

華人 呂力筋 死亡 報告 呂力筋 係 廣東 省 廣州 府 南海 縣 人 年 約 四十 餘 歲 於 八月 十日 在 廣東 省 廣州 府 南海 縣 死亡 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一 病 名 為 霍亂 症 經 查明 係 患 霍亂 症 死亡 現 已 安 葬 於 南海 縣 某 處 矣

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

役員 長 藤田 誠

華一 北乃 工 州 令 代理 長 藤田 誠

七、本會社設立以來、事業の進展に努め、

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

死体、生葬、二付、一、本會社設立以來、

一、本會社設立以來、事業の進展に努め、

本會社設立以來、事業の進展に努め、

55

死亡診斷書

氏名 劉林祥

男女別 男 田力

出生年月日 三十五年八月

職業 土工

病変死因 病死

病名 赤痢

発病日 昭和十九年八月二日

死亡時間 昭和十九年八月十日

死因 赤痢 終末期 衰弱 脱水 窒息

病歴 中 山 宮 隔 症 症 状

株式会社 電島組 監工 出長所

會社 明 書 簿 記 簿 記 簿 記

右記 帳簿 2100 應 收 帳 款 1000
2100 應 收 帳 款 1000

大 批 貨 物 出 售 帳 簿 1000 應 收 帳 款 1000
1000 應 收 帳 款 1000

帳 簿 一 日 帳 簿 1000 應 收 帳 款 1000
1000 應 收 帳 款 1000

帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿
帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿

帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿
帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿

帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿
帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿

帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿
帳 簿 帳 簿 帳 簿 帳 簿

華業人 三力 謹 志 死 亡 於 此 中

華業人 謹 志 死 亡 於 此 中

華業人 謹 志 死 亡 於 此 中

華業人 謹 志 死 亡 於 此 中

一 病 痛 之 日 時 及 均 行 如 和 十 九 中 八 月 十 六 日 子 女 亦 死

一 病 痛 之 日 時 及 均 行 如 和 十 九 中 八 月 十 六 日 子 女 亦 死

一 病 痛 之 日 時 及 均 行 如 和 十 九 中 八 月 十 六 日 子 女 亦 死

謝。 在 小 村 同 前 華 業 人 謹 志 死 亡 於 此 中

中 山 家 隔 鄰 病 之 日 月

一 病 痛 之 日 時 及 均 行 如 和 十 九 中 八 月 十 六 日 子 女 亦 死

楊 文 今 在 蘇 州 山 陰 縣 華 業 人 謹 志 死 亡 於 此 中

4000

會社 川島組事務所出張所

林合の承取書は、
敬

一 事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

ト打合中

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

事務長 此書の上
敬

死亡診斷書

一 氏名 木子 青山

一 男女別 男力

一 出生年月日 四十 五 少年

一 職業 系 死亡原因 係 系 土工

一 病變死亡 他 病死

一 病名 急性肺炎

一 發病日期 昭和十九年八月十七日午後七時五分

一 死亡時刻 昭和十九年八月十七日午後七時五分

一 死亡場所 山形縣中山町

株式會社 且野電工出張所

精誠神道... 乃... 乃... 乃...

一 右... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

一 乃... 乃... 乃... 乃...

11

P. 61
PUNG LI YING

P. 61

別業式二
依名曰友
元於年八
六謂為氏和
以初至天
大波想意是

華力登交 四 年 1911-1912 年 1913-1914 年 1915-1916 年 1917-1918 年 1919-1920 年 1921-1922 年 1923-1924 年 1925-1926 年 1927-1928 年 1929-1930 年 1931-1932 年 1933-1934 年 1935-1936 年 1937-1938 年 1939-1940 年 1941-1942 年 1943-1944 年 1945-1946 年 1947-1948 年 1949-1950 年 1951-1952 年 1953-1954 年 1955-1956 年 1957-1958 年 1959-1960 年 1961-1962 年 1963-1964 年 1965-1966 年 1967-1968 年 1969-1970 年 1971-1972 年 1973-1974 年 1975-1976 年 1977-1978 年 1979-1980 年 1981-1982 年 1983-1984 年 1985-1986 年 1987-1988 年 1989-1990 年 1991-1992 年 1993-1994 年 1995-1996 年 1997-1998 年 1999-2000 年 2001-2002 年 2003-2004 年 2005-2006 年 2007-2008 年 2009-2010 年 2011-2012 年 2013-2014 年 2015-2016 年 2017-2018 年 2019-2020 年 2021-2022 年 2023-2024 年 2025-2026 年 2027-2028 年 2029-2030 年 2031-2032 年 2033-2034 年 2035-2036 年 2037-2038 年 2039-2040 年 2041-2042 年 2043-2044 年 2045-2046 年 2047-2048 年 2049-2050 年 2051-2052 年 2053-2054 年 2055-2056 年 2057-2058 年 2059-2060 年 2061-2062 年 2063-2064 年 2065-2066 年 2067-2068 年 2069-2070 年 2071-2072 年 2073-2074 年 2075-2076 年 2077-2078 年 2079-2080 年 2081-2082 年 2083-2084 年 2085-2086 年 2087-2088 年 2089-2090 年 2091-2092 年 2093-2094 年 2095-2096 年 2097-2098 年 2099-2100 年

本 華 人 力 第 志 死 之 報 也

華 人 力 第 志 死 之 報 也 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日

禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日

禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日 禮 拜 日 休 息 日

一 病 為 以 運 送 障 碍 病 象 執 行 病

一 癸 山 病 日 時 和 十 九 中 八 月 三 十 日

一 癸 山 日 時 及 精 散 之 時 和 十 九 中 八 月 三 十 日

十 九 中 八 月 三 十 日 十 九 中 八 月 三 十 日

十 九 中 八 月 三 十 日 十 九 中 八 月 三 十 日

一 癸 山 中 生 死 亦 有 費 局 榜 下 五

株式會社

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

一 貴社 事務 諸君 御 下 御 座

豫定

子

大塚 隆夫
大塚 隆夫
大塚 隆夫
大塚 隆夫
大塚 隆夫

死体検査書

一 氏名 新 礼 仁

一 男女別 男

一 出生年月日 四十八年

一 職業 土木工

一 病変死 他 病死

一 病 名 胃腸障害病兼熱射病

一 発病 白 昭和十九年八月十日

一 発見 時 昭和十九年八月二十三日

一 発見 場所 十番十号

一 発見 場所 少佐田部 在りて之を發見

株式会社 東京市立衛生局 出長所

二會社 月島 糸子 屋敷 屋敷 屋敷

蘇島 社 中山 之 堂 山

乃 終 身 之 業

此 如 十 九 子 一 月 三 十 日

少 林 心 之 堂 山 之 堂 山 之 堂 山

曰 石 師 入 内 山 國

唐 十 九 子 一 月 三 十 日

蘇 島 社 中山 之 堂 山

乃 終 身 之 業

此 如 十 九 子 一 月 三 十 日

少 林 心 之 堂 山 之 堂 山

曰 石 師 入 内 山 國

火葬認許書

北秋田郡花岡町

死亡者 彭 礼 仁

四十八年 月 日生

昭和十九年 八月二十三日 午前 十一時 病死

右表岡町 墓地ニ於テ埋火葬ヲ認許ス

昭和十九年 八月二十四日

花岡町長 藤 盛 直 治



火葬年月日時

昭和十九年 八月二十四日 午後 一時

東秋七九

P. 65.

華ノカ登クノ年

華ノカ端迄死セテ折ル

華ノ人皆年一ノ年

華ノ人皆年一ノ年 彭 弘 仁

華ノ人皆年一ノ年 弘 弘 仁

一、痛 名ノミ出障得病薬扱一科病

一、癸痛ノ日時 昭和十九年八月三日

一、癸七ノ日時及時 昭和十九年八月三日

一時十分 少待田部 一、名ノミ出障得病

一、名ノミ出障得病 一、名ノミ出障得病

一、名ノミ出障得病 一、名ノミ出障得病

會社 廣島紅秀會社出張所

一 昭和七年四月一日

東京 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

一 〇〇〇〇 〇〇〇〇

P58

納品書

株式会社
元岡出張所 殿

株式会社 鹿島組出張所 御中
大館支店

昭和19年 8月26日

品名	数量	替	金額	備考
草孔紙	1844			
計	1844			
北原自働車 1283号				以上
上記之物品納入仕候也		合計		

929

株式會社 株式會社 株式會社

株式會社 株式會社 株式會社

華人 華人 華人 華人 華人

標之 標之 標之 標之 標之

及 及 及 及 及

記

株式會社 株式會社 株式會社

(P.70)

昭和十九年 八月二十八日

東京都京橋區 町二丁目三番地
株式會社 鹿 島 組
電話京橋60代表六二一(5)

株式會社 鹿島組 代理
花岡 山 敏

鹿島組 代理

社 正 殿

另力工持乃 物 品 未 以 有 調 査 二 方 依 於 一 件

標 記 一 件 二 件 三 件 四 件 五 件 六 件 七 件 八 件 九 件 十 件

部 分 一 部 二 部 三部 四部 五部 六部 七部 八部 九部 十部

記 一 記 二 記 三 記 四 記 五 記 六 記 七 記 八 記 九 記 十

記 (未 以 有 品)

品 名	品 名	品 名	品 名	品 名
麵 粉	洗 滌 器	便 器	麵 粉	麵 粉
麵 棒 小	ス ト ー プ	蒜	麵 棒 小	麵 棒 小
二 枚	一 枚	一 枚	二 枚	二 枚
三 枚	二 枚	一 枚	三 枚	三 枚
四 枚	三 枚	一 枚	四 枚	四 枚
五 枚	四 枚	一 枚	五 枚	五 枚
六 枚	五 枚	一 枚	六 枚	六 枚
七 枚	六 枚	一 枚	七 枚	七 枚
八 枚	七 枚	一 枚	八 枚	八 枚
九 枚	八 枚	一 枚	九 枚	九 枚
十 枚	九 枚	一 枚	十 枚	十 枚

盒

以上



33456



(P.7)

昭和十九年 八月二十二日

勞通第三七〇號

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿島組

電話京橋60代表六二二一(番5)

八月十五日受付

社長



花岡出張所長 殿

華人勞務者携帶品輸送ノ件

曩ニ移入ノ華人勞務者ハ携帶セル穀粉、炊事用具
其ノ他雜品ノ下関ヨリノ輸送事情不詳ニ付、勞務部
員ヲ下関ニ派遣調査ノ處迄記、通判明矣ニ付、爾今
貴所ニ於テ大館取ト連絡、上受取ニ遺漏ナキ様手
配相成友

追而受領ノ部ハ物品ノ種類、員數、毀損狀況等
簡單ニ報告相煩友

記

貸切貨車番號

イワ五八九四號

昭和 年 月 日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋59代表六二一(番)5

一 物品箇數

一八四箇

二 積荷月日

昭和十九年八月十日

三 貨車到着取

取取下関、着取大館

四 運送費

運賃其他諸掛式百拾九円貳拾

五錢也八月十九日 日通下関支

店ニ支拂ス

六 積込状況

部員下関到着并ニ積込ラ了

ニテハ為下関税関構内ニ於ケル

保管状況及積込状況不明

七 輸送状況

八月十八日貨車八下関取ヨリ

隣生取ニ廻送(同取ニテ列車編成

ノ苦)

山陽線 岡山、姫路間ニテ列車

事故アリ 岩国以東取行ノ貨物

P. 72)

P.73
(3.)

昭和
年
月
日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿 島 組

電話京橋(5)代表六二二一(番)(5)

八添附書類

ハ重要軍需物資ニ限定セラレ廉
居リ引越荷(苦力携帶品ハ疎
用荷物ト共ニ引越荷物トシテ知
理サル)ハ輸送制限解除後トナリ相
当送祭セラレバク大館著ハ八月末
頃ノ見込ノ由

ハ一種貨物通知書字通

以上

研究の予

<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>
<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>
<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>
<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>
<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>
<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>	<p>船名 船 一</p>

東京部

株式

部

部

社長

河野山敏

殿

報告

物果の自状及び報告書

船名及び自状並びに報告書

船名及び自状並びに報告書

船名及び自状並びに報告書

船名及び自状並びに報告書

船名及び自状並びに報告書

鍋 燗

先二束 付 月 燗	物事用 之ト一加 米	十斤	人言 塩	玉 葱	アソビ 心	著 代用	茶 抗	セイロ 一	鍋 燗
一 袋	二 個	一 二袋	二 袋	三 袋	一 袋	一 二袋	三 本	六 本	六 本
同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏	同書 記載漏
破 損	破 損	破 損	破 損	破 損	破 損	破 損	破 損	破 損	破 損

會社

長

同

同

一、同、破損、使用可能

196.

華人 漢語 漢文 漢字

華人 漢語 漢文 漢字

宋 墨 振

漢 四 十 多 中

一病 名 七 小 病

一發 病 日 時 和 十 多 中 八 月 平 日

一發 日 時 及 均 和 十 多 中 八 月 平 日 十 多 中

二時 〇 今 少 移 同 部 花 言 所 據 決 茲 山 地

中 山 案 中

一 發 言 者 生 也 何 山 省 新 宋 蘇 曲 野 村

和 十 多 中 八 月 平 日

少 移 同 部 花 言 所 據 決

株 或 少 北 茲 山 地 茲 山 地 茲 山 地

東京 都

株式 電 局 且

1978

夏月

會社

月

信

新... 敬

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

78

死亡診断書

一氏名 宋黒妮

一男女ノ別 男

一出生ノ年月日 昭和十九年八月十九日

一職業 死亡者ノ職業
家計ノ主ナル職業 土工

一病變死其他 病死

一病名 赤痢

一發病ノ日 昭和十九年八月二十四日

P. 78

一死亡ノ時

昭和十九年 八月三十日 午前七時〇分

一死亡ノ場所

北秋田郡花岡町字姥木鹿島組中山寮

右證明候也

昭和十九年 八月 三十一日

秋田縣北秋田郡花岡町花岡鑛山病院

醫師 大内 正



一出生ノ年月日
一親父ノ名
一母ノ名

秋田縣鑛務課

P. 80

火埋葬認許書

北秋田郡花岡町

死亡者 宋 黒 妮

四五才 年 月 日生

昭和十九年 八月二十一日 午後十二時 病死

右 花岡 墓地ニ於テ埋火葬ヲ認許ス

昭和十九年 八月二十一日

花岡町長 藤 盛 直 治



昭和十九年 八月二十一日 午後

四時

火埋葬年月日時

東秋七九

187
10月

株式会社 東京 電 局

新国

勤勞

八月三十日午後九時

華人社務

在野ニ在リテハ...

ニトシテ...

リテ...

中ニ...

リ...

リ...

八月三十日

早...

東京部

株式

電

局

且

セル旨
おそ
夜
駢
兵
北
山
小
也
話
ニ
テ
中
一
ク
ア
リ
心

眉
ツ
ア
ク
ニ
ス
レ
リ

一
九
一
一
走
ノ
動
機

本人ハ三十七日
原ヨリ
下
痢
病
ニ
由
リ
公
出
ス
振
子
ノ
為
ル
業
休
ツ
申
出
テ
九
毛
山
隊
長
ニ
テ
許
手
一
七
日
偶
々
三
十
日
十
五
時
便
通
後
入
官
休
息
セ
ン
ト
シ
ム
モ
五
日
中
一
同
僚
ヨリ
拒
否
ハ
四
回
倒
セ
ラ
レ
ム
為
テ
索
附
近
ノ
山
上
リ
空
復
ニ
テ
歩
行
困
難
ノ
為
山
中
ニ
お
テ
一
夜
ヲ
明
シ
日
十
五
時
始
末
快
ハ
花
岡
所
内
ナ
リ
附
近
ヲ
行
但
任
中
速
捕
セ
ラ
レ
ム
モ
ナ
リ

一
九
一
一
走
ノ
動
機

承
調
ノ
結
末
自
己
ノ
交
計
重
的
走
ニ
加
リ
サ
ル
モ
ノ
始
メ

一今後ノ計画

此ノ系ノ自身ヲ系後ノ人ノ資ニ呼マシメテ

化スルト世ニ化スル事及シテ容外ニ生カレ

ハ~~此~~此ノ世ノ附シテ~~其~~其ノ世ノ世ニ

セリテ~~其~~其セントス

以上

東京部

株式

85

以力登第一一

株式今之北越島地花百出港所

所長 河一 櫻山 殿

花一 出 港 所

部 長 殿

小隊長更迭ニ案スル様事ノ件

様事ノ件ニ案スル様事ニ依リ、理由ニ依リ、第一中隊ニ

小隊長兼人當テ、一七三年、揚生法ハ本ノ中ノ九廿

一日付リ、以テ、惣ノ様事トナリ、同ニ中隊長トテ、第一

中隊長兼人當テ、同日付リ、以テ、任令トナリ、以テ、

以テ、様事トナリ、以テ、

以テ、様事トナリ、以テ、

以テ、様事トナリ、以テ、

東京都

株式

電

局

組

一 甲隊之少尉ニ轉入シテ華人當多ク一ノのを
 于其北ノ中ニ于子カカ少中八月三十日ニ
 凡三ノ月ニ於テ
 一 甲隊之少尉ニ轉入シテ華人當多ク一ノのを
 于其北ノ中ニ于子カカ少中八月三十日ニ
 凡三ノ月ニ於テ

一、執

沛

邦

並

勸

課

一

系

地

小

後

字

姓

二、宿

舍

如

同

所

察

三、使用

主

株

式

宗

所

長

野

正

四、

百

自

昭

和

敏

二十

一

年

八

五、

種

半

年

七

日

六、渡

末

路

七

月

二十

五

日

下

株式會社 昭和十九年八月七日

敬請 貴社 承辦

會社 用 信 紙 別 封 封 口 出 引 用

八時三十分、九時、十時、十一時、十二時、

午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、

七時、八時、九時、十時、十一時、十二時、

午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、

七時、八時、九時、十時、十一時、十二時、

午後一時、二時、三時、四時、五時、六時、

七時、八時、九時、十時、十一時、十二時、

0800 89

4111

八月九日 礪波 濱田中、東洋汽船會
 社 船中 (只一人名) 出帆
 同日 夜船中 濱田 出帆
 八月九日 夕七時 出帆 山港出帆
 八月十七日 十日 出帆 八日 十日 出帆
 八月 子 出帆 午後 出帆 山港 出帆
 八月 出帆 全員 出帆 (実地) (二名)
 八月 一 出帆 一九時 出帆 出帆 (二名)
 八月 二 出帆 二一時 出帆 出帆 (二名)
 八月 三 出帆 二時 出帆 出帆 (二名)
 八月 七 出帆 六時 出帆 出帆 出帆
 八月 九 出帆 (只一人名) 出帆 出帆 出帆

株式會社 出帆

八月廿五日 東京 出野 大 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

八 日 廿 六 日 二 次 夕 後 七 時 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

八 日 廿 七 日 二 次 夕 後 七 時 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

八 月 廿 八 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

八 月 廿 九 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

八 月 卅 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

九 月 一 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

九 月 二 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

九 月 三 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

九 月 四 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

九 月 五 日 大 飯 駟 登 風 也 二 次 夕 後 七 時

S.P. 91

八月一日高亮八月二日張五十一八月三日

涼雅亭

以上陽長山下二九子女北高坡以未融

急下計七山道一輪道三毛拍三二元氣二

子山自山也少以表志一類

省山後一之病死志者以表志一類

八月一日郭洞雨八月十日劉林

史照清八月十日李士山八月二

別本十月五日彭公明仁八月三十日宋黑妮

人首數二九廿名

右是也一此字來後無字方勅從事及之休

珠式

會社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社

廣報社 廣報社 廣報社 廣報社 廣報社



昭和十九年 八月三十日

東京都京橋區横町二丁目三番地

株式會社 鹿島組

電話京橋66代表六二二一(番)5

勞通六三七七號

勞務部長



花園芳茂 所長

殿

華人勞務者死亡報告書控送付、件、

首題、件、關之量、船中ニテ死亡、三名分報告書字

壹通、由送付申上、小、案、可然、由取計相成、取、

追テ、弟、慰金ニ付テ、ハ、協會、事務、局ヨリ、指示、モ、有、也、

貴地、佐藤、駐在、員ト、連絡、上、由、拂、込、相、成、取、本、社、ヨリ、

未、知、支、拂、不、付、矣、案、由、念、シ、置、相、成、取、

九月二日受付



P. 93.

P. 94
 CHI LIONG
 SUN WEI TING
 CHANG WU SHI

P. 94

花園去張即二送...

右之通，錦隆丸船長證明書相添及此段津報出口候也

昭和十九年八月三十日

東京都在橋區梅町三丁目三番地

株式會社鹿島組

取締役 鹿島新吉
 副社長

華北勞工協會東京事務局
 局長 瀨戶助治 敬

一三	育亮	五一	胃腸障害 營養不良	不詳	一九三九年 八月三日	船中	原籍	平康全
五〇	孫維亭	四五	右	"	"	河北 寧津高庄	原籍	現地
六三	張五十	五二	右	"	一九三九年 八月三日	河北 威縣四維	原籍	現地

有死亡報出口

東京部

株式

會社

鹿島

29. p. 94

華人勞務者死亡報告

番籍	氏名	年令	死亡原因	疾病日期	死亡日期	死亡場所	原籍	其他	記事
一三	齊亮	五一	胃腸障害 過食不良	不詳	八月三日	船中	河北省 石門 栗村	現地 領事館	
五〇	孫維亭	四五	右	"	"	"	河北省 靈澤 高左	"	
六三	張五十	五二	右	"	八月三日	"	河北省 威縣 西維	"	

右之通、錦隆丸船長證明書相添及此段由報告也

昭和十九年八月三十日

東京都立橋區梅原三丁目三番地

株式會社 鹿島組
取締役 鹿島新吉
副社長

華北勞工協會東京事務局
局長 瀨戶助治 殿

東京部

株式會社 鹿島組

P. 96

様式第二號

移入華人勞務者勤勞狀況報告 (八月分)

株式會社藤田組花崗巖業所

區分	就業場所所在地	產業分類	移入狀況		移入狀況		本月份	現在數	缺勤狀況		出勤率	特等
			本年移入數	本年移入數	本年移入數	本年移入數			傷病	其他		
	少秋田組花崗巖業所 花崗巖採掘	土木建築	256	256			210	70	1	71	75%	
											88%	
											50%	
記項 一、八月分 二、八月分 三、八月分 四、八月分 五、八月分 六、八月分 七、八月分 八、八月分 九、八月分 十、八月分 十一、八月分 十二、八月分 十三、八月分 十四、八月分 十五、八月分 十六、八月分 十七、八月分 十八、八月分 十九、八月分 二十、八月分 二十一、八月分 二十二、八月分 二十三、八月分 二十四、八月分 二十五、八月分 二十六、八月分 二十七、八月分 二十八、八月分 二十九、八月分 三十、八月分 三十一、八月分 三十二、八月分 三十三、八月分 三十四、八月分 三十五、八月分 三十六、八月分 三十七、八月分 三十八、八月分 三十九、八月分 四十、八月分 四十一、八月分 四十二、八月分 四十三、八月分 四十四、八月分 四十五、八月分 四十六、八月分 四十七、八月分 四十八、八月分 四十九、八月分 五十、八月分 五十一、八月分 五十二、八月分 五十三、八月分 五十四、八月分 五十五、八月分 五十六、八月分 五十七、八月分 五十八、八月分 五十九、八月分 六十、八月分 六十一、八月分 六十二、八月分 六十三、八月分 六十四、八月分 六十五、八月分 六十六、八月分 六十七、八月分 六十八、八月分 六十九、八月分 七十、八月分 七十一、八月分 七十二、八月分 七十三、八月分 七十四、八月分 七十五、八月分 七十六、八月分 七十七、八月分 七十八、八月分 七十九、八月分 八十、八月分 八十一、八月分 八十二、八月分 八十三、八月分 八十四、八月分 八十五、八月分 八十六、八月分 八十七、八月分 八十八、八月分 八十九、八月分 九十、八月分 九十一、八月分 九十二、八月分 九十三、八月分 九十四、八月分 九十五、八月分 九十六、八月分 九十七、八月分 九十八、八月分 九十九、八月分 一百、八月分												

最高
最低
平均
...

